

グローブに参加すると こんなことができる！

T10

- 地球規模の観測活動に参加し、世界各地の観測データを活用したり地球環境の今を知ることができます。(観測活動に関するアドバイスも受けられます)
- グローブを用いて、様々な学年で活用可能な分野横断的な活動や、学校のカリキュラムに取り入れられる探究活動を行うことができます。
- 批判的思考や科学研究手法、データ解析、自主学習、大局的な思考(地域の情報から地球規模での示唆を得ること)など、様々な能力が身につきます。
- 教員間の情報交換や交流の場に参加できます。お互いの取り組みや課題を共有したり、アドバイスを受けることで、新たな活動に発展したり、学校での活動にフィードバックすることができます。
- グローブアメリカ本部が主催する国際的な成果発表会の場に参加することができます。海外の科学者から観測成果について評価を受け、学校での活動にフィードバックすることができます。また、発表会への参加を通じて、海外のグローブスクールで活動している児童・生徒の皆さんとも交流することができます。

(例)グローブスクール・ワークショップ

2021、SDGs & GLOBE フォーラム

グローブスクール・ワークショップ 2021 や SDGs&GLOBE フォーラムでは、SDGs 担い手育成にむけて、各学校におけるグローブ活動の特徴や課題を共有し、活動の新たな展開に向けて話し合いました。また、フォーラム後には、グローブスクール間での意見交換や交流の場を設け、活動の中で感じていることや児童生徒の様子、活動を行う上でのアドバイスやアイデアなど、現場の先生方の様々な声を共有しました。

グローブスクール(現場の先生方)の声



観測をきっかけに、
児童・生徒の興味や視野が広がりました。

様々な教科や部活動などの
既存の活動と連携させて取り組みを
展開させると良いと思います。



GLOBEとSDGsを関連させることで、
より地域や社会とのつながりが生まれ、
活動に広がりが出ました。

近くの駅に活動内容を掲示するなど、
データを公表する場を設けることで、
地域の方に活動を知ってもらうことが
できます。



グローブ活動はハードルが高いと
思っていたが、学校が持っている
資源や地域の特徴を活かして
活動に取り組んでいることが
よくわかりました。

今後、海外の学校のデータも
活用してみたいです。

